



みなさまの旅に輝きを



サステナビリティレポート 2023

Sustainability Report 2023



消耗品は必要十分なものに絞込み、歯ブラシやクシ、コットンなど使用頻度の高い消耗品は、再生可能な植物由来の原料を使用したバイオマスフィルムのパッケージ製品 (BFP) を採用しています。BFP の採用により、化石燃料の使用を抑制し、地球温暖化の原因となる CO2 の排出削減に努めています。



ホテルアジュール東京蒲田では、次の項目を実施し、SDGs で掲げる持続可能な社会の実現に向けて、可能なものから随時取り組んでいます。



宿泊予約や POP・メモなどについて、可能な限りタブレットなどで電子化し、バスルームでは一部の客室を除き、バスタブを設置せず、シャワーのみの構成としています。紙類使用を削減し、シャワー設備を基本とすることで、製紙のために伐採する木材や、世界的に問題となっている水資源不足の抑制に努力しています。



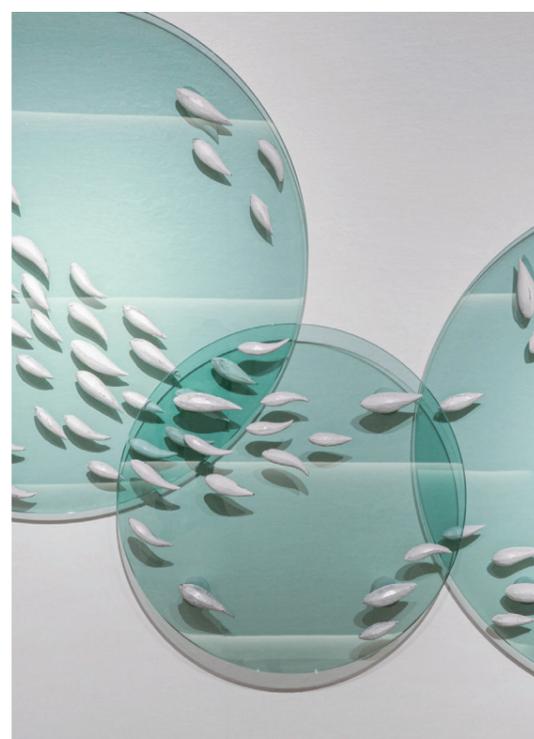
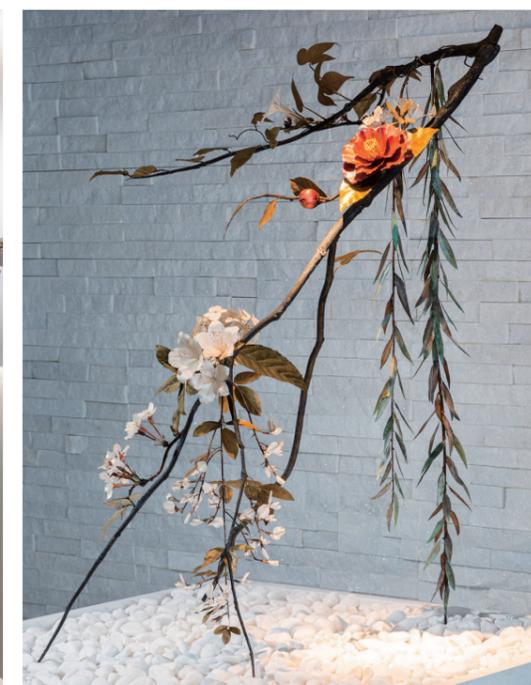
バスアメニティ (シャンプーやトリートメントなど) は基本的に詰め替え式のボトルタイプを採用しています。ボトルタイプの採用により、不要なゴミ (特に石油製品) の発生を削減・化石燃料の使用を抑制し、温室効果ガスの排出削減に努めています。



一部を除き、館内で使用する照明については LED を採用しております。また、空調設備には全熱交換を導入することで使用するエネルギーの消費を抑制し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。



地域産業や地元店舗との積極的な連携を図っています。地元と積極的にリレーションシップを図ることで、持続的な産業の発展と継続可能な社会をめざしています。



ホテルアジュール東京蒲田

〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7 丁目 30-5
JR 蒲田駅より徒歩 3 分
TEL.03-6822-4546



予約・詳細は公式ホームページをご覧ください。

アーバネットグループ

株式会社アーバネットコーポレーション 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 トライエッジ御茶ノ水 13 階
TEL.03-6630-3050 (代) FAX.03-6630-3045
株式会社アーバネットリビング 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 トライエッジ御茶ノ水 13 階
TEL.03-5244-4810 (代) FAX.03-5244-4816

<https://www.urbanet.jp/>

2023 年 6 月末日発行

安全で快適な都市を創造する それがアーバネットグループです

当社は 1997 年に設計事務所からスタートしたマンションデベロッパーです。そのビジネスの根幹は、都心・駅徒歩 10 分以内という好立地に他社と差別化した高品質なマンションを建築し、実際に住む方に家賃以上の高い満足感を得てもらうことにあります。マンションは 20 年、30 年とその場所に存在し続けるものです。立地、外観、ユーザーニーズ、収納等にこだわった長く愛されるマンションを開発することこそが、マンションデベロッパーが目指す真のサステナビリティだと考えています。

そこに、近年の気候変動等の社会課題への対応をビジネスとして取り込み、ZEH マンションの建設などを推し進め、社会にも業界にも貢献できる企業として持続的な成長を図りたいと考えております。

ステークホルダーの皆様におかれましては、このような当社の取り組みをご理解いただき、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社アーバネットコーポレーション
代表取締役社長 田中 敦 代表取締役会長兼 CEO 服部 信治

サステナビリティ 基本方針

私たちアーバネットグループは、「人々の安全で快適な『暮らし』の提案を行い、豊かで健全な社会の実現を目指します」という企業理念のもと、サステナビリティ経営に取り組んで収益に結びつけ、事業活動を通じて、持続的な成長を目指します。当社グループは持続可能な社会の実現に貢献するために、以下の基本的な取り組み方針を定め、企業価値の向上を目指します。

1. 事業を通じたサステナビリティへの取り組み

事業活動を通じて環境をはじめ、貧困等の社会問題や、文化・芸術活動等の社会貢献活動に取り組みます。

2. ステークホルダーとの関係強化

お客様、取引先、株主、投資家、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じて関係性を強化し、事業活動を通じて当社らしい価値を創造し、持続可能な社会の実現に取り組みます。

3. 社会からの信頼の確立

コンプライアンスを遵守し、理想の住まいを開発・提供するとともに、経営基盤を強化し、持続的な経済の発展に貢献することで、社会から高い信頼を得る経営に取り組みます。

以上

2021 年 11 月 18 日 制定

企業理念

アーバネットコーポレーションは 人々の安全で快適な「暮らし」の提案を行い、豊かで健全な社会の実現を目指します。

経営指針

顧客志向

顧客満足度を高めることを第一に考え、株主と従業員の幸せを追求します。

独創志向

「暮らし」の提案を通して、社会が必要とする技術革新と自社だけの特色を創造し強化します。

共生志向

企業と企業、人と人とのネットワークを大切にし、互いに成長し共生することを経営の目的とします。

URBANET BASIC MISSION

B RIDGE | 私たちは企業と企業、人と人、情報と情報、そして現在と未来の架け橋になります。

A CTION | 私たちは失敗を恐れず成功する姿をイメージして積極的に行動します。

S KILL | 私たちは正確さとスピードをもって仕事に当たり、常に最良の結果を出せるように自分自身を磨きます。

I DEAL | 私たちは斬新な発想をもって美的で洗練された「理想の住まい」を全力で追求します。

C OMMUNICATION | 私たちは誠実かつ謙虚な気持ちで相手に接し、十分な意思疎通をはかり、確固たる信頼関係を築きます。

サステナビリティへの取り組み

アーバネットグループは、企業理念に基づき、事業活動を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。そこで、当社グループはサステナビリティへの取り組みの一環として、SDGsに関する4つの重点活動を定めて推進しております。



<p>重点課題</p>	<p>環境等への取り組み</p> <p>環境をはじめ、貧困等の社会的問題に取り組むとともに住み続けられる街づくりに貢献します。</p>	<p>理想の住まいの開発</p> <p>都心のワンルームマンション開発・販売事業で長年蓄えてきたスキルとノウハウにより、安全で快適な住居を開発・提供することで、持続的な経済の発展に貢献します。</p>	<p>芸術、美術活動への取り組み</p> <p>勉学に励む若手芸術家の発掘・支援・育成を実施することで、豊かで健全な社会の実現に貢献します。</p>	<p>魅力ある職場の実現</p> <p>働きやすい職場環境の整備、従業員の健康増進、人材教育に努めております。魅力ある職場づくりを通じて、有為な人材を育成し、持続可能な社会の実現に貢献します。</p>
<p>主な取り組み事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ZEH-M (ゼッチ・マンション) 普及による脱炭素社会への貢献 →P05 へ ●アーバネット防災プログラムへの取り組みを通じた気候変動への対応 →P09 へ ●国連 UNHCR 協会等への寄付 →P13 上段へ 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な居住者アンケートの実施・分析を踏まえた居住スペースの絶えざる改善 ●当社独自の技術やアイデア等は知的財産権として保護し、活用促進 →P11 へ ●美的で洗練されたモノトーンの外観マンション →P12 下段へ 	<ul style="list-style-type: none"> ●若手芸術家の発掘、支援のため、美術・芸術を学ぶ学生限定の立体アートコンペ (AAC) の開催を継続実施 →P12 上段へ ●当社開発マンションのエントランスホールに展示する立体アート作品を若手芸術家から購入 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康経営優良法人 2023」認定 ●各種 研修体制の充実 ●女性管理職の登用 →P13 下段へ
<p>対応するSDGs</p>	1 貧困をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナースhipで目標を達成しよう	4 質の高い教育をみんなに 17 パートナースhipで目標を達成しよう	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
<p>ESG分類</p>	<p>E</p>	<p>S</p>	<p>S</p>	<p>S</p>

ZEH-M (ゼッチ・マンション) 普及への取り組み

アーバネットグループはサステナビリティを巡る課題解決のため、ZEH-M 普及への取り組みについて、以下のとおり、取組方針を定めています。

アーバネットコーポレーションにおける ZEH 化取組方針

2030 年までの中長期基本方針

1. 当社は、集合住宅における ZEH-M 普及に取組み、持続可能な社会の実現を目指します。
2. 当社は、2030 年を目標に、開発するすべてのプロジェクトについて、ZEH-M (『ZEH-M』、Nearly、Ready、Oriented) 化を可能な限り推進していきます。
3. 当社の開発する ZEH-M プロジェクトは、HP 等で随時紹介し、ZEH-M 普及に貢献していきます。

アーバネットコーポレーションは ZEH デベロッパーに登録されています

経済産業省 資源エネルギー庁は、「集合住宅における ZEH の定義」を定め、普及促進に向けベロッパー登録制度を 2018 年にスタートしました。ZEH-M 普及の役割を担う建設会社やマンションデベロッパー等を ZEH デベロッパーといい、当社は 2022 年度から ZEH デベロッパーに登録されています。

ゼロエネルギーで、暮らそう。



【参考】集合住宅における ZEH の定義 (ZEH-M の定義)

高層化に伴い、創エネの導入によって集合住宅全体のエネルギー消費量をまかなうことが難しくなっていくことを考慮した定義付けとなっています。

『ZEH-M』 住棟全体で 正味100%以上省エネ	Nearly ZEH-M 住棟全体で 正味75%以上省エネ	ZEH-M Ready 住棟全体で正味50%以上省エネ	ZEH-M Oriented 住棟全体で正味20%以上省エネ

住棟での評価			住戸での評価			住棟での 評価における 目指すべき水準		
断熱性能 ※全住戸で以下を達成	省エネ率 ※共用部を含む住棟全体で以下を達成		断熱性能 ※該当住戸で以下を達成	省エネ率 ※該当住戸で以下を達成				
	再エネを除く	再エネを含む		再エネを除く	再エネを含む			
『ZEH-M』	強化外皮基準 (ZEH基準)	20%	100%以上	『ZEH』	強化外皮基準 (ZEH基準)	20%	100%以上	1~3階建
Nearly ZEH-M			75%以上100%未満	Nearly ZEH			75%以上100%未満	
ZEH-M Ready			50%以上75%未満	ZEH Ready			50%以上75%未満	
ZEH-M Oriented			再エネの導入は 必要ない	ZEH Oriented			再エネの導入は 必要ない	

ZEH-M 第1号、「メイクス氷川台アジュールコート」完成

当社初、かつ、首都圏初となる、ZEH-M Oriented 仕様の投資用ワンルームマンション「メイクス氷川台アジュールコート」が 2023 年 2 月 28 日に竣工しました。当マンションは一次エネルギー消費量を 33%削減できるマンションです。



外観



立体アートのあるエントランスホールとアプローチ



室内 (1LDK)

■メイクス氷川台アジュールコートの概要

所在地：東京都練馬区早宮
 交通：東京メトロ有楽町線・副都心線「氷川台」駅徒歩6分
 敷地面積：694.46㎡＜登記簿＞
 延床面積：1,220.10㎡
 構造・規模：壁式鉄筋コンクリート造 地上4階建
 総戸数：37戸 (内、管理室1戸)
 間取り：1K (29戸)・1LDK (7戸)



この住棟のエネルギー消費量 **33%**削減
 2022年3月31日交付 国土交通省告示に基づく第三者認証

ZEH-M Oriented 仕様マンションがもたらす暮らしのメリット

メリット1 快適で健康的な暮らし

高断熱の ZEH-M は、一般的なマンションに比べると外気の影響を受けにくく、年中室温が一定に保たれるため、夏は涼しく冬は暖かく過ごせます。寒暖差が激しい冬は、浴室などでヒートショックのリスクが高まりますが、ZEH-M なら冬でも暖かく過ごせるため、心筋梗塞や脳卒中などの事故を防ぐ効果が期待できます。

断熱性能を高める

住戸天井	住戸サッシ	断熱材仕様(壁)
標準仕様 直天井	標準仕様 アルミサッシ・単板ガラス6mm	標準仕様 硬質ウレタンフォーム25mm厚
ZEH-M Oriented仕様 断熱材吹付20mm厚	ZEH-M Oriented仕様 樹脂+アルミ複合サッシ Low-E複合ガラス	ZEH-M Oriented仕様 硬質ウレタンフォーム50mm厚

天井はスラブ下を断熱施工して二重天井に。居室の断熱性能を高めています。

窓は樹脂+アルミ複合サッシとLow-Eガラスで優れた断熱性能を発揮します。

断熱性を高めると部屋間の温度差が小さく、ヒートショックなどのリスク軽減にもつながります。

断熱性が低いと 廊下など 断熱性を高めると リビング 廊下など

冬はリビングからだと寒い 廊下もトイレもあたたかい

メリット2 省エネで経済的な暮らし

ZEH-M は、高断熱および高効率の設備を利用しているため、一般的なマンションに比べて月々の光熱費を削減することができます。高断熱により室内の温度が一定に保たればエアコンなどを使用する機会が減り、光熱費の節約につながるからです。

省エネ設備の導入

給湯器	エアコン	水栓(キッチン・洗面)	シャワー水栓(浴室)
標準仕様 16号一般品	標準仕様 一般流通品	標準仕様 一般品	標準仕様 一般品
ZEH-M Oriented仕様 高効率型 エネルギー消費効率(94%以上)	ZEH-M Oriented仕様 高効率型 エネルギー消費効率区分(Ⅰ)	ZEH-M Oriented仕様 水優先吐水機能	ZEH-M Oriented仕様 手元止水機能・少流吐水機能

高効率給湯器「エコジョーズ」を採用。排気熱、潜熱回収システムによりエネルギー消費効率を約95%まで向上させ、大幅なランニングコスト削減を実現します。

省エネ性能が高く効率的なエアコンを各居室に1台装備。エネルギー消費量を抑え、電気代を削減します。

節湯仕様のシングルレバー混合水栓をキッチンと洗面化粧台に採用。従来品と比べて、およそ30%の水が削減されます。

浴室のシャワーは手元のボタンで止水できる機能付きで、節水効果を高めています。従来品と比べて、およそ32%の水が削減されます。

Q. 光熱費はどれくらい節約になる？

A. 実際の光熱費は各世帯の使用状況により異なりますが、2023年1月時点の東京電力、東京ガスの料金体系にて、メイクス氷川台アジュールコートの光熱費を試算したところ、一般仕様住戸と比較して、戸あたり月額約1,400円削減できる見込みです。年間にしますと約16,000円の削減となります。今後、大手電力会社の電気代値上げが予定されており、再び、光熱費の差額は、広がるのが予想されます。

※総務省公表の34歳以下の勤労単身者の家計調査を参考に、第三者機関が試算したメイクス氷川台アジュールコートの光熱費削減率を使用しています。

メリット3 資産価値の向上

環境に対する意識の高まりから、省エネ効果の高い住宅は資産価値が高く評価されています。将来的に ZEH-M が標準化されることから、今後も高い評価が期待できます。

ZEH-M 化推進に向けた金融機関との協働

通常のマンションを ZEH-M 化するためには、設備変更による建設コストのアップは避けられません。しかし、当社はその対応策として、金融機関との協働による優遇金利設定を実現するとともに、販売会社とも協働し、メイクス氷川台アジュールコートの ZEH-M 化費用の軽減に成功いたしました。おかげさまで、本物件の竣工時には、全ての住戸が販売・賃貸ともに完了いたしました。

概要

メイクス氷川台アジュールコートは、オリックス銀行株式会社及び、投資用ワンルームマンション販売会社の株式会社メイクスとの協働による開発です。当社が ZEH-M 仕様のマンションを設計・開発し、導入コストについて、金融面でオリックス銀行に、販売面でメイクスに一部負担・協力いただくスキームです。



オリックス銀行 代表取締役社長 錦織 雄一 当社 代表取締役会長兼 CEO 服部 信治 メイクス 常務取締役 佐藤 龍二

当社(開発会社)

ZEH 仕様マンション開発の調査・研究 ZEH-M Oriented に適用するための設計推進。導入コストの算定。導入後の電気代・ガス代の削減額の算定 金融機関に金利優遇の働きかけ

オリックス銀行(銀行)

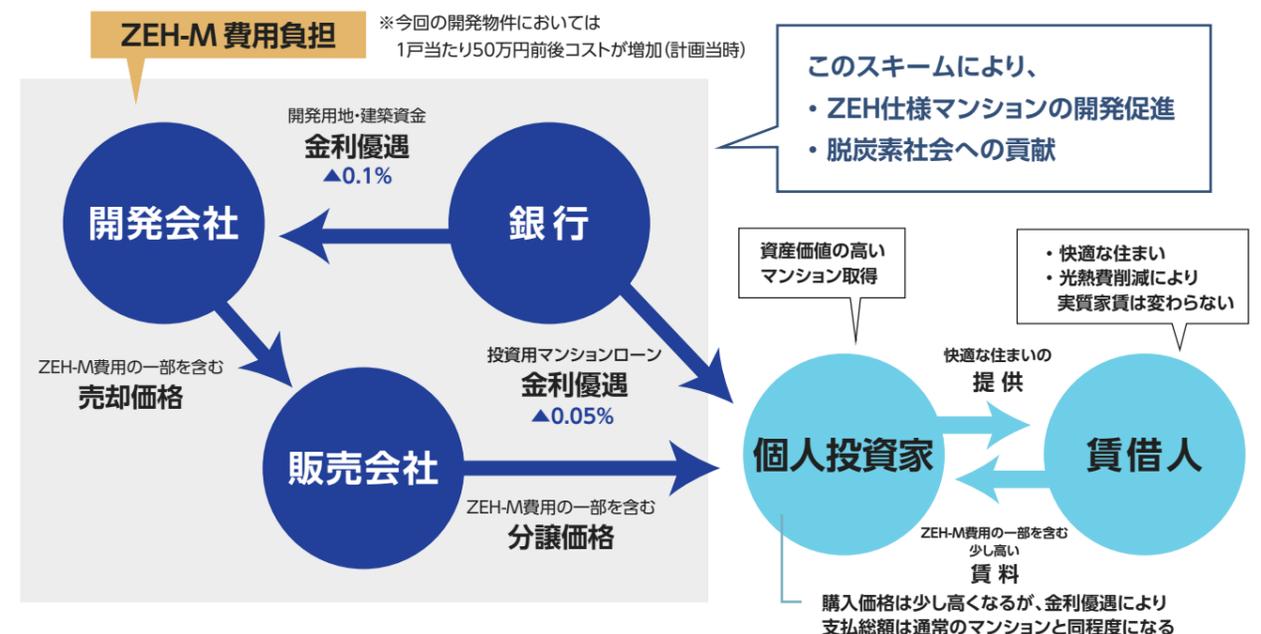
環境配慮型投資用不動産の普及のため、取引先であるマンションデベロッパーに働きかけ →金利優遇を通じて取引先を支援

当社とオリックス銀行による開発計画がスタート

メイクス(販売会社)

オリックス銀行の金利優遇により、個人投資家が ZEH-M Oriented という資産価値の高い商品を月々のローンの支払額をあまり増やすことなく購入できることに賛同し、販売協力

3社協働スキーム



アーバネット 防災プログラム (台風対策)

2019年、観測史上初めて首都圏を直撃した台風第15号・第19号の激甚災害により、マンション住民は窓ガラスの破損・浸水・停電等の被害を受けました。そこで、2020年1月、当社開発の投資用ワンルームマンションに台風対策を取り入れた「アーバネット防災プログラム」を策定いたしました。2019年の台風被害から、強風対策、豪雨対策、停電対策の3点を強化しています。気候変動によって発生する台風等の防災対策は、SDGsの達成に貢献するものであります。

アジュールコート

停電対策

▶ 停電時用 足下保安灯を常設 (専有部)

停電時に点灯する保安灯の採用

- 周囲が暗くなるとナイトライトとして「電球色」で自動点灯
- 停電すると同時に明るい「白色」で自動点灯
- 非常時の懐中電灯として、コンセントから外して使用可能 (約20時間以上連続点灯)



ハンディホーム保安灯 (コンセント設置タイプ) (パナソニック㈱)

▶ 停電時の備品対策

共用部1階に防災倉庫を作り、備品を設置

〈備品〉 スマホ充電機能付手回しソーラー蓄電ラジオ



チャージオ (㈱クマザキエム)

簡易トイレ



サニタクリーン (社会福祉法人東京コロニー)

豪雨対策

▶ 雨水侵入対策の強化 (共有部)

基本計画時にハザードマップを確認し、浸水エリア (50cm以上) の場合、簡易設置型止水板を設置 (防災倉庫に保管)

▶ 浸水時に放流できない雨水を一時的に地下ピットに貯留するシステムの採用



Boxwall (NOAQ)

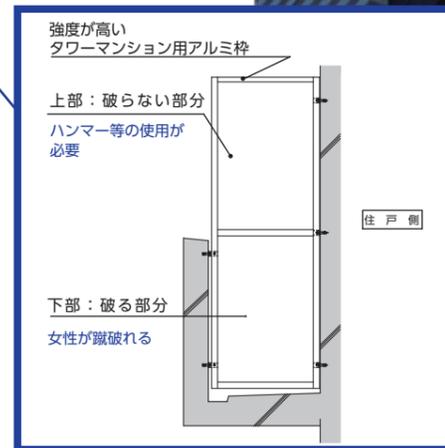
強風対策

▶ 避難隔壁板 及び 隔枠の強化

地上20mを超えた部分 (8階以上) について、台風による強風で破損しないよう避難隔壁板の上部及び隔枠は、従来の仕様より強化し、隔壁板の下部は、非常用の脱出口のため、容易に破れる強度にとどめています。



8階以上 (高層階)



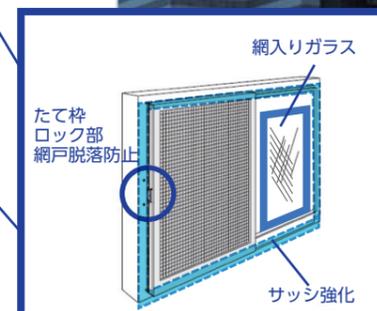
▶ サッシの耐風圧性能の強化

東京は基準風速 34m/s ですが、鹿児島・銚子・高知の基準風速 38m/s に耐えられるサッシに仕様をアップ。

※基準風速とは、過去の台風の記録に基づいて計算した、50年に一度の大型台風の予想最大風速です。国土交通省が計算して、国土交通大臣が定めているものです。

▶ ガラス及び網戸の飛散・脱落対策

- 〈ガラス〉 防火設備で飛散防止フィルム貼りか、飛散脱落防止が期待できる網入りガラスを採用
 - ※下階にガラスが落ちる可能性がある場合
- 〈網戸〉 可動網戸が強風時にはずれないように、たて枠ロックタイプ採用



防災倉庫

地下ピット

特許の取得（知的財産権のご紹介）

当社独自の技術やアイデア等は知的財産権として保護し、活用を促進しています。理想の住まいを追求する中で、独創的な技術、アイデア、デザイン等が生み出され、自社開発マンションのブランド価値を高めています。

当社のものでこのこだわりを通じて生まれた技術やアイデアは、知的財産権を取得しています。2023年度に取得した2件の特許を含め、当社の有する知的財産権をご紹介します。

DESIGN デザイン



建物の外壁照明構造
特許第 7164229 号

本発明により、建物を直接照明することなく、建物外壁に複数階にわたって上下方向に適度な明度の間接光を照射してライン状の間接照明とすることで、スッキリとしたデザイン性を損なうことなく、均一な明度で建物外壁をライトアップすることを可能にしました。

登録日：2022年10月24日



側壁構造及びエントランス
特許第 7224059 号

本発明により、内外を連続する柔らかな曲面壁でマンションの来訪者の視線を自然に建物内部へと導き、約 2.8メートルの高い天井高を活かしたドレープ状の壁と間接照明が幾重にも重なり陰影を作るデザインを造り上げました。

登録日：2023年2月9日

STRAGE 収納

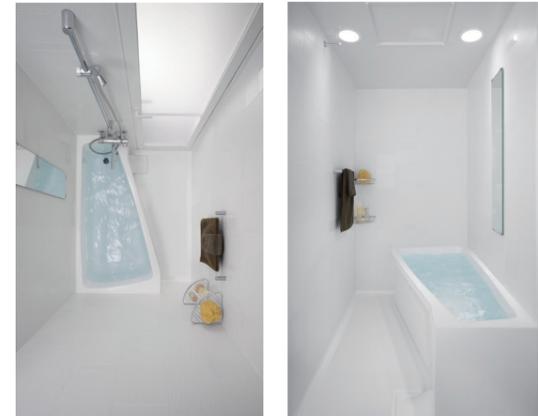


アップパーキャビネット
実用新案登録第 3235362 号

居室や廊下上部のデッドスペースを活用し、衣装ケース等を収める収納棚にしました。



BATHROOM 快適



ユノバース
意匠登録第 1360445 号

浴室の大きさはほとんど変えずに、浴槽の形と向きを変えることで、身長 185 cmの方でも足を伸ばせる浴槽を実現しました。また、お湯を張ると水面が綺麗な水色となるようにデザインしています。

学生限定立体アートコンペの継続

アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション
- ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION (AAC) 2022 開催 -

AAC は当社開発マンションのエントランスホールに設置する立体アート作品を学生限定で募集する当社主催のコンペティションです。2001年に若手アーティストの発掘・支援・育成を目的としてスタートし、22回目の開催となりました。また、2019年より、AACの告知ポスターを募集する学生限定のポスターコンペも行っています。

AAC2022の概要

■AAC2022 ポスターコンペ

募集内容：AAC2022の告知ポスター
募集期間：2021年12月15日～2022年2月28日
審査会：2022年3月24日
応募総数：374点
賞：最優秀賞「作る」鮎川 裕之伸
(多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 1年)
入選8点
審査員：ナカムラクニオ(「6次元」主宰、映像ディレクター)
上西 祐理(アートディレクター、グラフィックデザイナー)
服部 信治(主催会社 代表取締役会長兼 CEO)



◀ 最優秀賞作品 ▶

■立体アートコンペ AAC2022

募集内容：設置場所の空間を活かした立体アート作品
設置場所：「ラグゼナ錦糸町」のエントランスホール
(東京都江東区)
募集期間：2022年4月20日～7月4日
最終審査会・表彰式：2022年10月17日
応募総数：93点
賞：最優秀賞「千種万花」平尾 祐里菜
(広島市立大学大学院 芸術学研究科 造形計画研究 金属造形)
入賞2点、入選7点
審査員：保坂 健二郎(滋賀県立美術館ディレクター<館長>)
岩淵 貞哉(「美術手帖」総編集長)
大竹 利絵子(彫刻家)
服部 信治(主催会社 代表取締役会長兼 CEO)



第13回 優良事業賞を受賞

2023年4月、(一社)全国住宅産業協会主催第13回優良事業表彰の中高層分譲住宅部門(ワンルーム)において、当社開発の投資用マンション「レジデンス文京春日」が優良事業賞を受賞いたしました。

主な受賞理由

■外観デザインと間取りの工夫が高く評価

本土地は有効活用により取得し、外観デザインは逆梁を前面に出し、上下化粧リブを設けてリズムカルな印象とし、住戸内部は狭小異形地においてその形状を感じさせない整形の取れた間取りとなるよう工夫してあることが主な受賞理由となりました。当社グループは、今後も投資効果が高く、デザイン・空間にこだわり抜いた自社ブランドのマンション開発に取り組んでまいります。



名称：レジデンス文京春日
所在地：東京都文京区春日2丁目
構造規模：鉄筋コンクリート造 地上14階
賃貸戸数：35戸
竣工：2022年12月



国連 UNHCR 協会を通じた難民支援

世界には、迫害、戦争、暴力のために故郷から逃れることを余儀なくされ、安心・安全な住居のない難民の方々があります。住まいに携わる当社は、この社会的問題解決に貢献するため、国連 UNHCR 協会を通じて、難民の方々へシェルター等の提供を目的とした寄付を継続して行っています。

2023 年度の難民寄付

■ウクライナ難民緊急支援

2022年2月24日に開始されたロシアのウクライナ侵攻により、現在も多くのウクライナ国民が安全を求めて周辺国へと渡り、難民となっています。このような状況をうけて、当社では、同年3月、11月の2回にわたり、ウクライナ難民の方々への緊急支援として、100万円ずつ、計200万円の寄付を行いました。



国連 UNHCR 協会 川合 雅幸 事務局長

働きやすい職場環境の整備

ウイズコロナ、アフターコロナ時代において事業活動を継続していくためには、社員の健康管理が重要であることから、労働条件の見直し、メンタルヘルス対策など様々な取り組みを進めています。

2023 年度の取り組み

■「健康経営優良法人 2023」認定

2023年3月、当社は4年連続で、日本健康会議において「健康経営優良法人 2023（中小規模法人部門）」に認定されました。企業経営において、従業員の心と身体の健康管理が最重要課題と捉え、具体的な対策を講じることで「健康経営」を推進しております。

■各種 研修体制の充実

当社は、開発においては常に高い技術力を有し、営業展開においては高度な専門知識を有している人材を育成することを方針としております。OJT を中心とした社員教育の実施に加えて、階層別教育（管理職研修、指導監督職研修、リーダー研修）、専門職別教育などを実施しております。



■育児休暇の取得

魅力ある職場の実現の一環として、育児を理由に労働者が離職することなく、両立しながら働けるように支援することを目的として、育児休業、出生時育児休業の取得を推進しています。

※2023年6月期実績 女性2名、男性2名



研修の様子

■女性管理職の登用

当社は、優秀な人材については性別、国籍、障がいの有無等の属性に依ることなく積極的に採用及び登用する方針の下、女性管理職の登用も積極的に行ってまいります。

※女性管理職：役員2名 部長2名 グループ長1名

(2023年6月末日現在)

アーバネットグループの概要 (2023年6月末日現在)

会社概要

商号	株式会社アーバネットコーポレーション URBANET CORPORATION Co., LTD.	事業内容	不動産開発販売 ・投資用ワンルームマンションの開発・1棟販売 ・分譲用マンション等の開発・分譲 ・戸建住宅の開発・分譲 ・事業用地の仕入販売 ・不動産仲介業 等 ホテル事業 設計・デザイン監修・施工管理等の業務受託 第二種金融商品取引業
設立	1997年7月		
資本金	26億93百万円		
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード：3242)		
所在地	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 トライエッジ御茶ノ水 13階		

商号	株式会社アーバネットリビング (株式会社アーバネットコーポレーション 100%子会社)	事業内容	・不動産戸別分譲事業 ・不動産戸別仲介業 ・不動産賃貸業 ・マンション管理業 ・ホテル経営業務
設立	2015年3月		
資本金	10億50百万円		
所在地	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 トライエッジ御茶ノ水 13階		

コーポレートガバナンス体制

当社は、企業統治の体制として、監査役会設置会社制度を採用するとともに、独立性の高い社外取締役（独立役員）3名と社外監査役3名を選任し、監査役会、内部監査室、会計監査人と相互に連携を図ることにより、経営への監督機能の強化を図る仕組みを構築しております。また、当社では、執行役員制度を導入し、経営の意思決定、監督機能と業務執行機能の分離により、ガバナンス体制の一層の強化を図っております。このような体制を採用することにより、適正なコーポレート・ガバナンスを確保できるものと認識しております。

